

昭和13年

関東

東海

近畿

寅年

官庁団体役員上場企業役員会

〒540 大阪府中央区本町1の2の14 秀和ビル6階
大阪経済倶楽部内 ☎06-946-0025
昭和13年寅年・関東東海近畿官庁団体役員
上場企業役員会 幹事 濱田 守久

印刷 毎日新聞・高速オフセット

世界のメージャー・プレイヤー



外務省条約局長

丹波 實 (北海道)

ここしばらく世界は激動を
続け、その中で日本がどのよ
うに生きて行くのかが問われ
て来ましたが、今年平成五年
も行く手は波高しとみられま
す。私の仕事の分野である外
交という観点から、今一番大
きな問題は何か、と問われれ
ば、それは、国際社会の日本
に対する期待の高まりと日本
の対応との間のギャップの問
題です。例えば、昨年平成四
年暦年ベースの日本の年間買
入易黒字は一千億ドルを超えま
したが、これはマイジャンで
言うところのサンコロであり、
問となつて出て来るかもしれ
ません。これが私の恐れる国
際社会の日本に対する期待と
日本の実際の行動とのギャッ
プの拡大です。
私たちが日本国民にとって重
要なことは、私たちの主観的
意図はどうであろうと、日本
の道はない、とすれば、私た
ちは、多少の不便やつらさは
あつても、やはり主要なプレ
イヤーとしてフェアにゲーム
に参加していく必要があると
思っています。自分たちは、お
金を稼ぎ、組合費は多少他人
より多く出すけれども、火事の
時の炊き出しは他人に押しつ
ける、という生き方ももう通
用しないうえ、私には、昨年
六月のPKO法案成立までの
一年半、外務省国連局長とし
て、国会答弁とかその他いろ
いろのことですら思いをし
てきたのは右に述べたような
ことでした。
関東寅年会も今年が発足三
年目を迎えます。日本がいろ
いろな意味で重要な局面にあ
る今日、各界、各層の指導的
な立場で活躍しておられる皆
様がこの会合を通じて一層結
束を強められることは、極め
て有意義なことと確信します。

新年あけましておめでと
うございます。
平成五年元旦、私にとりま
して最良の年を迎えました。
夢のまた夢のことだと思つて
いましたことが、今実現でき
ることになり、私の夢はより
躍されております。平成元年
の上場企業の役員は総数で九
百五十名ですから、いかに昭
和十三年寅年の方々が各分野
で積極的に活躍され日本の政
治経済に大きく貢献されてい
るかが数字に示されておしま
す。
さて昨年十一月東海寅年会
の幹事と相談の結果、本年八
月四日(水曜日)午後六時半
より東京・パレスホテルにお
いて開催することに決定しま
した。本場に夢のようであら
うと思います。これまで道のり
がスムーズに歩んでこられた
寅年会に対する貢献度は言
葉で言い表せない大きなもの
がございます。その方々の文
章が北海道より沖繩までの知
事、市長(衛星都市含まず)、
大正十五年生まれの国会議
員、市長、上場企業役員、寄
りませんか。
今回、(第三号)発刊に際し
まして大変ご多忙のなかご寄
り下さいます。本年八
月四日の全国大会には、大
きな会場をいっばいにし、昭
和十三年寅年の大輪の花をい
っばい咲かせようと思つてお
ります。

「夢」の全国大会決定

濱田 守久 (高知)

大阪経済倶楽部会長



一層大輪の花を咲かせよう
としております。
振り返れば、平成元年五十
一歳、人生のラストスパート
をかけたとき、心のやすらぎ
の樂園として共に励まし合ひ、
共に競い合う場として、誇り
うる友達を一人でも多くつく
りたいという願望から行動を
起し、平成元年七月に近畿
寅年会を、平成二年十月関東
寅年会、平成三年五月東海寅
年会を設立しました。
現在国会議員十八名、省庁
課長以上百二十名、上場企業
役員千八百七十名の方々が活
躍されております。平成元年
の上場企業の役員は総数で九
百五十名ですから、いかに昭
和十三年寅年の方々が各分野
で積極的に活躍され日本の政
治経済に大きく貢献されてい
るかが数字に示されておしま
す。
さて昨年十一月東海寅年会
の幹事として名を連ねて
にたいた方々の功績であり、
会運営の原動力となつてお
ります幹事百二十名の方々の心
よりのご協力に対し深く深く
感謝申し上げます。
第一号に始まり本号まで会
報にご寄稿下さいました方々
すら願っております。本年八
月四日の全国大会には、大
きな会場をいっばいにし、昭
和十三年寅年の大輪の花をい
っばい咲かせようと思つてお
ります。

謹賀新年

平成五年 元旦



南海サウスタワーホテル大阪

取締役社長 本田 龍三 (昭和13年 寅年)

〒542 大阪府中央区難波5丁目1番60号 TEL.(06)646-1111

シミキン...ターザン...あゝ同期の桜...

私の映画人生

東映取締役 京都撮影所所長 佐藤 雅夫(大阪)



東映京都撮影所長の任に当たるとして、映画を語ることは、即そのまま、わが人生を語る事に直結してしまふ。13年寅年の皆さんにとっても、思い出の名画の数々は共通の画に魅せられたのは、高校時代の仲間だ。やはり中心はハリウッド映画だった。エスター・ウィリアムスの水着姿にうっとり、アラン・ラッドの「ジーン・スミス」に夢を追う、「風と共に去りぬ」の豪華さのために、面助手としてタイトルに載った。昭和36年、東映京都撮影所の企画部に入社した私にとつて、映画は趣味から仕事へと変わってしまった。初めて企画を手としてタイトルに載った。昭和36年、東映京都撮影所から任侠(きょう)ものへと大きく転換していった。鶴田浩二の「度胸七人斬り」、高倉健の「ザヤクザ」、藤純子の「緋牡丹博徒」、菅原文太の「関東テキヤ一家」等々、私の参加品傾向もまた変わっていった。「火宅の人」も思い出の作品である。檀一雄氏の原作をもとに深作欣二監督で作られた映画は、緒形拳を主人公に、いしだあゆみ、松坂慶子、原田美枝子、檀ふみ、と華やかな女優たちが参加してくれた。松竹作品だが、東映で作る事になった「蒲田行進曲」、中国ロケまで敢行した「空海」、重役間の派閥抗争を軸にサラリーマンの悲喜劇を描いた「社葬」も好評を博した。今まで約60本位、プロデュースとして映画を作ってきたが、どの作品にも愛着があり、むしろ出来の悪い子ほど気にかかるといのが、本当の気持ちである。

たのは「あゝ同期の桜」である。遺稿集をもとに、神風特別攻撃隊として散華した若者たちを描いたこの作品は、当時のオールスターを配し大ヒットした。そのころから東映は時代劇興行の時代になっていく。作

感情基盤に立つ懐かしいメモリーであると思う。記憶に残っている最初の映画は清水金一こと「シミキン」の喜劇映画だ。小学生のころだろうか、大人に交じって背のびして見たものだ。学校か

代の青春期だろう。大阪に居をき、フレッド・アステア、ジン・ケリーの華麗なダンスに興奮したものだ。中でもミュージカル映画「雨に唄えば」の楽しさと、舞台となったハリウッドのスターの幻想が、私の夢を決定づけた。

昭和40年代は京都撮影所だ。年20本ぐらい映画を作っていた。いわゆる二本立てのころである。昭和50年代に入り、映画は一本立て1ヵ月興行の時代になっていく。作

健康「肉、食」

日本ハム常務取締役 森崎 中 (香川)



近年、健康の希求からヘルシーフードの選択が厳しくなりました。国家的方向として喜ばしい次第です。また食品の製造販売に当たる身として、このニーズに添いたいと思っております。しかし、食肉が成人病の原因だ、などといって、その摂取を控える人々が増えていることについては、私はなだ心外に堪えません。我が国民が、男子七十五歳、女子八十歳という平均寿命に恵まれた最大の要因は、動物性タンパク質を十分に摂取するようになった食生活の改善によることである。

食肉は、卵や乳製品と肩を並べる良質のタンパク質を持っており、この動物性タンパク質の必須アミノ酸含有率は、植物性タンパク質の及ぶところではありません。肉類が体内で奇与する、血や筋肉づくり、新陳代謝

の促進、スタミナ源、ビタミン・ミネラルの補足などを無視してしまつて、諸悪の根源のように言われるコレステロール生みの親と見られては困ります。これは偏見のほかの何ものでもありません。

コレステロールには善玉と悪玉とがあつて、人体はその細胞膜やホルモン、胆汁酸などをつくるため、このコレステロールがゼロとも必要です。

成人病や過度のカロリー摂取と見合わない運動不足とか、ストレスから生じるもので、「食肉」が一因に挙げられるのは不当です。

ハワイの日系人は世界で一番長寿ですが、その動物性タンパク質の摂取量は一日に七〇gといわれています。我が国の四〇gに比べて二倍近くとなっています。以上の事柄に一人でも多くの理解が得られれば幸いです。

人生「寅」の巻

「以心伝心」で通じ合う時があれば、どれほど言葉が並べなくても伝わる事もある。「コミュニケーション」とは難しいものだと感じます。寝食を共にする家族間でさえも油断をしていると、様々な行き違いが生じるのですから、言葉や生活習慣の異なる外国人、ましてや、複数の相手となりまますとなおさらです。

昨年、シンガポールでアジア各国の代理店を招き、新製品発表会を行った時の事であり、冒頭、私のあいさつから始まる訳ですが、開発から発売に至るまでの、各部門における力戦奮闘の労を思い起こしますと、おのずと演説にも熱が入るものです。その

私のスピーチの終わりに近づいたところ、何故か会場内に拍手や歓声が沸き起こり、イヤホンを外す光景が、ちらほらと見られ始めました。どうやら、同時通訳たちが

しました。お客様方はそれぞれ母国語に通訳された本部長のスピーチを聞かれます。時間の関係上、本日は必ず原稿通りに、そして出来るだけゆつくりとお話し願います。

通訳するように」と通訳陣に要請して回っていたのです。彼の進言に素直に従つたお蔭で漫画のようなワンシーンと相成った訳であります。心配したものの、発表会は次第進

り皆さんの熱意がよく伝わつたと、口々に力強い言葉を掛けられた私は、昼間の醜態を忘れるほどの感激を覚えしました。

私はこの時、実に大切な事

感動の伝達を

松下電器産業取締役 山脇 利捷(福井)



スピーカーである私より先に話を終えてしまっている様子なのです。ふと、事前説明に来た担当課長の言葉を思い出

日ごろ、早口で原稿を無視する私の癖を知っている彼は、そう懇願したその足で、「今日は出来る限りスピーディーに

り順調に運び、ディナーの席上では代理店の社長方から「今日は久しぶりに感動した。際や言語の違いがあつたとしても、懸命に訴えようとする

熱意があれば、必ずや相手にも「感動を与える」事が出来るものだという事です。コミュニケーションとは単に情報を伝達するだけでなく人間である以上、そこに「感動の伝達」があるべきなのではないかと感じたのです。そしてそのためには、まず自らが感動し得る繊細な感性を培わねばと痛感致しました。

忙しさに取り紛れ、とにかく感動、感激が薄れがちな日常ですが、今年こそは、例えば四季折々の花鳥風月に心を動かす、森羅万象に感動できる。そんな心のゆとりを持ちたいものです。本年もよろしくお願ひ申し上げます。

「鶏鳴」元年!

西濃運輸取締役社長 田口 義嘉壽(岐阜)



今やその数少ない十三年の「寅男」が、貴重な歯車になっていくのですから、今年も当たり年の人たちに負けないように頑張りなればならない。

新年の干支は「酉(とり)」。ことわざ「鳥なき里の蝙蝠(こうもり)」とい、優れたものがない所で、つまらないものが威張り散らしたり、幅を利かせたりすることを比喩(ひゆ)している。

最近の世の中、どうもこうした傾向が目立ちます。特に政界は、優れた鳥なき里の所へもつて来て、良からぬ話題で次々に汚され、政治の改革は緊急、必須となつて来た。鶏鳴を告げ、酉年が、実質的な改革スタートの年になることを国民の一人として強く望んでやみません。

日本経済もバブルが弾けて以来、低迷が続いていますが、酉年の今年には、ぜひ明るさをとり戻したいものです。

着任してからまだ九ヶ月である。着任早々例によって高校時代の同窓生による歓迎会食が行われた。三十六年ぶりの再会であったが質問の多くは「中部方面総監とはなんかね」「中部方面隊とはどこにあるかね」「そして、「この関西に陸上自衛隊は居るのかね」等々であった。

自衛隊も国民に愛され信頼されることを目指して随分と広報には力を入れて来たつもりであったが、私が自衛官としてその大半を過ごした北海道とは大変な差である。

PKO 第1陣



陸上自衛隊中部方面総監陸将
宇野 章二(島根)

関西の人たちの多くは、自分の身近な所にこんな組織体がある自衛隊の先陣になると知って驚いたのではないかとと思う。そして政治が、国際力学が、ズカズカと一般庶民の家庭に入り込んできたと思われたのかもしれない。

自衛隊を良く知る人ですら、北海道とか九州の部隊を差し置いて、なんで中部方面隊が先なのかと聞く人が居るのだから一般の市民の方々の驚きは当然のことと思われる。指名の順序は、各方面隊の業務予定から来る派

五十路に達したところからであろうか？ 過ぎし日の雑念にさほど煩わされることもなく、少しずつゆとりと落ち着きが身に備わり、ひよつとして人並みに成長しつつあり、遅まきながら「不惑」の域に至ったかなどと思ひ、なにかと、年の変わり目にそのことを実感する。

昨年はまた政治的にも経済的にも殊の外激動、混沌の連続、それも洋の東西を問わずとあつては周辺が實際騒々しく、私自身、やることなすことすべて消化不良気味で本当にスカッとした気分を味わう暇がなかった。ところが、一夜明け除夜の鐘と共に過去のあしき事、不愉快なことなどすべて捨て去り、晴れとした解放感に浸り、自由に主体性をもつて、明日という未来に「尽きせぬ夢」をひらすらす描き楽しんでる。

私が多たまたま名古屋に在勤中に東海寅年の発起人会があり、浜田さんの提唱のもとに田口義嘉寿(西濃運輸社長)、加藤千鷹(名古屋銀行頭取)の両氏を中心として、従来からあつた地元寅年会と合体し、さらに東海・関西の寅年会と連合した東海寅年会が一年程前にスタートしたが、その直後に私は東京転勤のためわずか一年の間に東海と関西の両寅年会のメンバーにさせていたたくことになった。

だと思つて、年々一歳ずつ若返るつもりで新春を迎えるべく努力しているつもりだが、なかなかそうもいかんこともあるがナ。東西の寅年諸兄はいかが思つてか？

こんなことを書く、「そりや君オカシイぞ、健忘症か、誇大妄想症のハシリじゃないのか？ 現実から逃

けちやイカン……。そや、ソヤ、ちよつとオッサン、おかしなことイなんなん、あんなナ、ホンマは物忘れがひどくなつただけなんや、気分がなえてきたんちやうか？ 気分なハレ、まだ人の心を限りなく「リフレッシュ」してくれるもの、いわば「人生若返りの妙薬」

かも知れせんナア。時というのは元來連続性のもので、消え去れ、止まれる、はたまた元に戻れなど、まして未来に良いこと、楽しきことのみあれと願つてみても、それは問屋が卸すまい。これは多分悪い連合で「錯覚」というノである。錯覚とは物事を誤つて全く別のものと

思い込むこと」と辞書にあつた。

今日の頃
・家にあつて家長様と妻子にあがめ尊ばれ、健康第一と粗食を余儀なされ、何かと物品金銭をねだられては世の風潮に後れを取つては、惨めな思いをさせ

てはと我が身を削る。社にあつては概ねみんなの支持を得ているもの、信じ、取り分け女子諸君が好感を抱いてくれていると思ひ込む。そこで、私がやらなきやだがやると血をたぎらせては、時折周囲のいさめもくらしい、若い者の反撃にも遭う。

・趣味と実益にとマジ

ヤンに興ずれば、たまたまオラスでビリの大ピンチ、ここで度胸一番の追つかけの薄いカンチャン待ちリチ。あろうことか、リーチ、一発、ツモ、ウラドラが足の指を折るほど出て来たりして逆転のトップでなこともある。この際、いささかの疑念もなく己の卓越した

勝負勘に酔いしれては(ジヤン)業が尾を引くこととなる。

・余暇のゴルフはすべから健康に良しを第一義とするが、ごくまれに名門難コースでハーフとはいえ30台など達成すると、この年にしてますます技術に円熟味が加わっているとウヌボれる。百たたきの憂き目に遭えば、即、設備投資の散財を繰り返す。

これら我が昨今の思考にはかなりの「錯覚」があるやもしれぬ。恐らくそうに相違あるまい。我が人生をしみじみと顧みるに、ま

さに「錯覚だらけの人生」であり、恥や苦境に満ちていたが、多くの場合、「時の流れの妙薬」がこれを救つてくれ、明日につなげてくれたように思える。時の流れの妙薬は「真実」と「錯覚」を同化する効力を持つてはいるのかもしれない。ほどほどの「錯覚」があつてこそ人生は楽しい。私はこれからもりもせず、「錯覚人生」を歩き続けようと思つて居る次第である。

寅年会諸兄！ 虎は「千里を往つて千里を還る」ということわざがある。行動範囲が広く意気盛んな様、また肉親への愛情が深いことを意味するといふ。しかるに才に溺れて時々ボカをやる。去年の阪神タイガースがそうじゃつた。しかし過ぎたことはもう言うまい。明日に期待しよう。小生、現在中部地区に在り、乱世の三大英傑「偉大なる錯覚人」信長、秀吉、家康に思いをはせながら、全国寅年会諸兄のご活躍、ご健勝を祈りつつ筆を擱(お)

の歴史を共に生き抜いた寅年諸兄の人生は素晴らしいものになるに違いない。しかし最近気になることがある。五十歳代の計報がなん

面の最大のテーマのように思われる。

昭和十三年寅年は八白土星。平成五年という年は我々にとつて多忙・盛運の年の由。協力者に恵まれ大飛躍の機会が多い一方で断先行は凶の由。つまり多くの人の助けや連携が大切ということであろうから、この寅年会についてもお互いに大切に育てていきたいと考えている。

錯覚 だらけの わが人生

日新製鋼取締役名古屋支社長

金丸 隆充(大分)



カラオケもやる。「旅の夜風」か「かえり船」で始まり、満場の拍手を浴びるや、アンコールにも応ずる。聴く人々が喜んでくれるのならば……。

これら我が昨今の思考にはかなりの「錯覚」があるやもしれぬ。恐らくそうに相違あるまい。我が人生をしみじみと顧みるに、ま

「八白土星」は盛運の年

三井海上火災保険常務取締役
服部 辰雄(東京)



高校・大学あるいは会社で既知の同期の人、先輩、後輩に何人も出会つたこと。私は遅生まれなので同じ寅年の早生まれの方より一学年前後は遅い。

昭和十三年生まれの我々は、戦争も平和も、飢えも飽食も、質素もぜいぜいも、およそ人の世で正反對のことを数多く体験してきた。

我々には平均的にはあと二十五年の時間が残されている。これからの二十五年は大きく動き、昔人には想像もつかないような波乱万丈

と多いこと、責任が重くなり体を酷使していることの反映と思うが、五十四歳の我々はまずこの五十歳代を無事乗り越えることが当

先日、通産省の某課長が、ラジオで聞いた話として紹介して呉れたところによると、目一代、耳二代、舌三代と言われている。その代と云うのだそうである。絵画では親の才能と関係なく、大家になり得るが、音楽では親も才能がなまやダメというところらしい。さらに料理人の感覚(味覚)は、料理人まで鋭くなければ、一流にはなれないということである。

画家、音楽家には大いに異論があると思われるが、こうした高尚なことに一方向に能力のない身には、向いていない。湯木貞一氏が文化功労者顕彰を受けた。遅過ぎた嫌いがあつた。大変素晴らしいことである。テレビや雑誌で拝

舌三代

日本開発銀行理事 山本 貞一(石川)

先日は通産省の某課長が、ラジオで聞いた話として紹介して呉れたところによると、目一代、耳二代、舌三代と言われている。その代と云うのだそうである。絵画では親の才能と関係なく、大家になり得るが、音楽では親も才能がなまやダメというところらしい。さらに料理人の感覚(味覚)は、料理人まで鋭くなければ、一流にはなれないということである。

画家、音楽家には大いに異論があると思われるが、こうした高尚なことに一方向に能力のない身には、向いていない。湯木貞一氏が文化功労者顕彰を受けた。遅過ぎた嫌いがあつた。大変素晴らしいことである。テレビや雑誌で拝

見ただけだが、ご高齢にもかかわらず、元気かくしやく、また実には含蓄の深いことを言われる。同名の故もあり、尊敬申し上げているが、たまに料理を頂いても猫に小判で、何やら申し訳ないやら恥ずかしいやら

一緒にパリに何度か出張したことがあり、その度に本場の仏料理の味がわからない小生が仏料理に行くのを嫌がって糟谷君に迷惑を随分かけた。日本の仏料理には出て来るスープや生の果物が仏では出してくれない。単にそれだけで本場の仏料理が嫌いというのだから、故人に本当にあきれられ、軽べつされ、また不快な思いをさせたと慙愧(ごんき)に耐えない次第である。

ところで、当会会長の濱田氏が、性四代、あるいはBest art is the art of lifeと言われるかどうか聞いてみたいものである。(前資源エネルギー庁長官)

平成四年五月に昭和十三年寅年会がこの東海地区に誕生し、皆様の仲間に入れていただいた。

この年は、景気が一段と悪化し、四月に続き、七月に日銀は第五次公定歩合の引き下げを実施した。この金利引き下げに対して株価は反応せず、日経平均株価はなんと一萬五千元を割る記録となった。

今回の景気はいつの間にか不況になった感じがする。しかも意外に深く、本格的な不況となって来た。

景気が悪いということは、通例だと失業者が突出するとか、企業倒産が相次ぐとかの現象が生じるのである。今回はそれが見られない。「見えない不況」あるいは「金融からきた不況」と言われる所以(ゆえん)である。

今、銀行にとって大きな問題は株安による株式含み益が急速に縮小していること(購入価格より時価が下

今、金融界は

名古屋銀行頭取 加藤 千麿(愛知)

カバーされていない残高が約四兆円と公表した。これによって国民の不安心理を解消するためのようである。これらのパブリック債権を銀行のフローの利息で今後償還していくとすると恐らく十年はかかると思われる。最近ゴロ合わせで、「七・五・三」と数字が言われる

この数年、ゆとりと豊かさについての論議が盛んである。日本は経済大国になったにもかかわらず、国民はゆとりと豊かさを感じていないのは何故かというのがその出発点であったと記憶している。

自分自身についてはどうかと省みるに、昭和三十六年の入社以来、折しも高度成長路線に乗って、ひたすら働けば将来いい事があるだろうという漠然とした期待の下に、ただやみくもに仕事をして来たという思いが強い。将来課長になれば、部長になれば、あるいは役員になればと出世を思い、車が欲しい、家を持ちたい、別荘が欲しい、社用車を使いたいと物欲もたくましくしながら年を暮らして来た。

出世欲が段階的に満たされ、物欲を一つずつ満たしても、一時的な喜びや充足感はあるが直ちに次の欲求が出て来る事となる。なかなかゆとりと豊かさを感

心の満足

新日本製鐵取締役 猪熊 研二(兵庫)

この数年、ゆとりと豊かさについての論議が盛んである。日本は経済大国になったにもかかわらず、国民はゆとりと豊かさを感じていないのは何故かというのがその出発点であったと記憶している。

自分自身についてはどうかと省みるに、昭和三十六年の入社以来、折しも高度成長路線に乗って、ひたすら働けば将来いい事があるだろうという漠然とした期待の下に、ただやみくもに仕事をして来たという思いが強い。将来課長になれば、部長になれば、あるいは役員になればと出世を思い、車が欲しい、家を持ちたい、別荘が欲しい、社用車を使いたいと物欲もたくましくしながら年を暮らして来た。

出世欲が段階的に満たされ、物欲を一つずつ満たしても、一時的な喜びや充足感はあるが直ちに次の欲求が出て来る事となる。なかなかゆとりと豊かさを感


権(六十日以上)の上利息の入らない貸付金を各行とも抱えている。大蔵省では九月末の都・長銀・信託銀行の不良債権を約十二兆三千億円、このうち担保・保証で

今、銀行にとって大きな問題は株安による株式含み益が急速に縮小していること(購入価格より時価が下

に於ける事に気が付いた。心の満足は、仕事、家庭、友人、趣味等のよりよきバランスの上に得られる。しかたもこのバランスは年と共に変化していく事が必要で、今後、徐々に仕事から家庭に友人に、そして趣味の世

は物の考え方次第という事ではなからうか。そういう意味で日本人に欠けているのは物の考え方、哲学であり、そのためには時間が掛かっても、それを教える情操教育、特に学校や家庭における教育が基本的に重要だという思いを強くしている次第です。

旭原管理型最終処分場



処理場内

洗車ピット

浸出液処理設備

鳥取県		島根県	
許可番号	鳥取県指令受環1第2号	第085号	第085号
事業の種類	収集・運搬業(保管行為を除く)	収集・運搬業(保管行為を除く)	収集・運搬業(保管行為を除く)
取り扱う	燃えがら(有害なものを除く) 汚泥(有害なものを除く) 鉱さい(有害なものを除く) ガスト類(有害なものを除く) 廃プラスチック類 動植物性残渣	燃えがら(有害なものを除く) 汚泥(有害なものを除く) 鉱さい(有害なものを除く) ガスト類(有害なものを除く) 廃プラスチック類 動植物性残渣	汚泥 燃えがら 鉱さい ガスト類 金属くず 建設廃材 ガラスくず及び陶磁器くず 以上8品目以上有害物類を除く)
産業廃棄物の種類	金属屑 ガラスくず及び陶磁器くず 建設廃材 紙くず 木くず 繊維くず ゴムくず	金属屑 ガラスくず及び陶磁器くず 建設廃材 紙くず 木くず 繊維くず ゴムくず	

白山環境開発株式会社

本社 鳥取県倉吉市上井町1-200
TEL(0858)26-0621 FAX(0858)26-0634

旭原処分場 鳥取県倉吉市服部字柳谷979-6 TEL(0858)28-5606

代表取締役 山根 清道

株式会社 藤商

代表取締役 藤田 繁夫

子供のころの生活習慣といふものは、なかなか離れられないもののように、長い間郷里を離れて生活していても、それをもち続けている人は多いようである。

食生活においても同様で、ある時季になると、その物が食卓に上らないと、どうもケジメがつかないという場合がある。現在では、大抵の食品は比較的簡単に手に入るようになったが、それが手に入りにくいとか、味にこだわりがあり、腕に覚えのある向きには自前で、という人も多いようである。

私の郷里香川では、正月はあん入り餅(もち)の入った雑煮で祝う家庭がかなりある。この話をすると、ほとんどの人が驚きに近い言葉を発し、次いで、よくそんなものが食べられますねという言葉が返ってくる。

しかし、このユニークな雑煮がないと、私の正月は始まらないのである。雑煮そのものは至って簡単で、大根、ニンジン、具の白みそ汁にあん入り餅を入れ、青のりをふつて食べるのである。ところが

肝心の餅が手近に求められず、大福餅では皮が薄くて溶けてしまい、昔はそれなりの試行をし、失敗を重ねたが、餅つき機の出現によって一挙に展望が開けることとなった。

雑煮



参議院法制局第二部長
河野 久(香川)

が、昨今では笑って試食していただくだけである。もともと、私自身も餅を丸めているにすぎないが、しかしながら、かくして出上がつた雑煮に対する我が家の人気は、低い。自分の好みを家族に強いるつもりはさらさらないので、私以外は、

が一番よいようである。かなりの固さまで煮詰めると、ほど良い大きさの団子にしておき、餅の中に包み込んでいくのである。毎年、十二月三十日か三十一日にするのであるが、ちょっとした楽しみになっている。子供が小さいころは面白がつて手を出していた

関東風のを食べている。従って、我が家の正月は二種類の雑煮が作られるのが習わしとなっている。間もなく、このささやかな年中行事がやってくるが、さて皆様のお正月はいかがでしょう。

我々の年代は、子供のころから「男子厨房(ちゆうぼう)に入らず」と教えられ、勝手口でうろろするとよく父親に怒られたものである。転職歴も10回を数えるが、4年前の神戸支店への転勤の時については単身赴任の羽目

寅の輪



和光証券常務取締役
前田 格義
(神奈川)

「独だ」等とうそぶきながら、結構自由な身を楽しんでいるつもりである。若いころの転勤は、何もかもおつくうで、その内また、転勤だろうから近所付き合いも、ほとんどにしておくと、その地域にも溶け込まず、私

に陥り、子供のころからの教育のお蔭で飯の炊き方も分からず、あんちよこを持つて赴任、食事に四苦八苦した事が今では懐かしい。勤務地は神戸から京都へと変わったが最近では「家族にも見放された。俺(おれ)は天涯(がい)孤

生活で楽しい思い出を積極的につくろうとしなかった。當時を今から思うと随分、もつたいない事をしたと感じるのには年のせいであろうか。その反動か、最近では、いろいろな地域の多くの方々とお会い出来るのが楽しみの一

つになつては、寅年会とのかかわりは、近畿寅年会の第二回に出席してからであり、その後よほどの事がなければ、出席を楽しみにしている常連組である。高輪プリンスホテルで開かれた、関東寅年会の第一回の会合にも、濱田幹事を手伝うという名目で神戸から出向き、また先般は、中部寅年会の第三回目の会合にも厚かましくも出席し、二十数年前の名古屋支店時代にお世話になった会社の近況を、各社の寅年の方から伺い、若い日々を懐かしく思い出し、楽しいひと時を過ごせた事を、この場を借りて感謝申し上げたい。

神戸地区の方は、地区内で交流を深めておられると思うが、京都でも、当地の寅年が京都ホテルに集まり、懇親の会を持つことが出来た。今や、異業種間の交流が盛んと聞くが、同じ年齢のためか親しく打ち解けることも実感であり、寅年会の皆様と今後ますますのご交誼(ぎ)をお願いする次第である。

感動する気持ち

最近のスポーツでは、サッカーが人気を集め、ファンに感動を与えている。我々の子供の時は終戦直後で、いち早く普及された野球が最も人気のあるスポーツであった。

当時、私は名古屋郊外の田舎に住んでおり、自然の山・川・海を相手に、おなかを空かせながらも元気よく遊んだものだ。そんな折、小学校四年生(昭和二十二

年)のある日、近所のおじさんと名古屋近郊の鳴海球場(当時の公式野球場で現在ははない)へ職業野球(現プロ野球)の観戦に行った。

私にとっては初めての野球との出会いで、大いに魅せられ、その感動は大変強烈なものであった。野球好きがここから始まり、小・中学時代熱中して野球をやった。また、プロ野球から高校野球、草野球に至るまで、調に進んだ時、「ヤツタ」と

飽くことなく観戦したものである。

十代後半からの青春時代は映画に引き込まれ、和・洋画を問わず、週二回は三本立ての映画を観賞し、感動に浸っていた。

会社へ入って三十有余年の今、人間的にも成長し、仕事に対する自信もあり、大きな成果も上げていると自負しているが、最近、何か一つ物足りなさを感じる事がある。それは何か? よ

く考えてみると、どうも若いころに比べて物事に対して感動する気持ちが、年と共に薄れてきているのではないかと。若くて多感なころは、確かに感動する気持ちが強かった事を思うと、「感動する」という事は、若さの特権であり、若さの証であるのかもしれない。自分では五十歳半ばになった今でも、常日ごろ、まだ若いと思っている。しか



日本電装取締役
山口 寛之(愛知)

し本心に若さを保持するためには、これから意識して出会う物・事・人に対し感動する気持ちを持ち続けたいと自覚する今日このごろである。

未来へのメッセージ



千里グループ

株式会社 千里
大阪市淀川区西中島4丁目9番20号
TEL.06-885-0867

千里遊機株式会社
大阪市淀川区西中島4丁目9番20号
TEL.06-885-0861

株式会社 千里ゴルフ
大阪市淀川区西中島4丁目9番20号
TEL.06-885-5788

10月の終わり、浜田さんから突然の電話を頂きました。

電話の内容は、なんでもよから1000字ほど書けとのことでした。浜田さんから言われると、ちょっとやそつと断れないことは皆様も良くご存じの通り、つい引き受けることになってしまいました。後日、案内状が届いて今回原稿を依頼された人の一覧表を拝見すると、どうやら私が岡山

の出身であるために「指名があつたように思いました。何を書くかということ、岡山のことかな」と迷いましたが、考えてみれば岡山を離れて既に35年、現在の岡山の事情はほとんどわからないので、「名古屋」の事を書いてみようと思えます。

私は平成元年12月1日、清水建設名古屋支店長として当地に赴任してまいりましたので、この小文が皆様のお目にかかる時は、名古屋支店長在任満3年を過ぎているところになります。

「名古屋は本当に日本の中心に位置している」これが名古屋にきて強く実感したこと。そしてこの思いは住むほどに増してきています。ちなみに日本の人口の重心は岐阜県可児市で、名古屋から北へ30(約)程行ったところだそう

です。どこに行くにも便利で、先日も私と同時期に大阪に転務した同僚と、京都で食事をする事になりましたが、会社の仕事を終えてから京都に向かい、6時半には向こうで食事を始めていました。そのときは12時ごろに名古屋の自宅に戻りましたが、食事だけだと10時過ぎには我が家に帰れるほど近いのです。このように、立地的に非

常に恵まれていられるにもかかわらず、名古屋のことはあまり一般的に知られていないようです。この機会に皆様に少し名古屋のことをお伝えしたいと思います。

名古屋市の人口は、148千人、世界先進国で15番目の人口(1位東京8、324千人、2位ニューヨーク7、165千人、7位横浜3、151千人、13位大阪

ました。そして1612年、有名な清洲越えが行われることになりました。街造りの特徴は、道路計画で従来の城下町の迷路のような道路建設ではなく、道路はすべて直角に交差し「基盤割りの町並み」を作ったことでしょう。

信長の時代にすでに城下町として造られていた清洲と、現在も熱田神宮がある熱田のほぼ中央にある那古野台地の北端に現存する名古屋城を築きました。また、台地の西に沿った

2、645人、14位パリ、189千人)。放送中のNHK大河ドラマ「信長」でも皆様ご覧のように、信長もこの名古屋の地に城を持っていました。現位置での街は、家康によって作られました。1600年、関ヶ原の戦いも終わり、家康は初代藩主義直に命じ、名古屋城築造と城下町の建設に取り掛かり

中心は名古屋だ



清水建設取締役 村上謙一郎 (岡山)

名古屋市の施行、東海道線全線開通、市内に電灯点火と近代化が進んできました。

また、名古屋の街づくりに大きく貢献したのが、展覧会だと言われている。明治43年、名古屋開府300年を記念し、関西府県連合共進会を鶴舞にて開催、昭和12年(1937年)、名古屋汎太平洋博覧会を同じくするまい公園で開催しています。この時期、名古屋駅の移転、桜通りの開通など大きな都市計画が実施に移されています。

愛知県は、21世紀初めの世界万博博覧会(一般万博)を2005年に誘致しようとしています。万博のテーマは「技術、文化交流―新しい地球創造」となっており、当中部圏の活性化に役立つものとなることはもとより、新しい21世紀の世界の発展に寄与するものでなければならぬと考えています。2005万博に合わせ、知多半島の常滑沖海上に24時間対応の中部新空港が建設予定であり、また、中央リニア新幹線、第二東名・名神高速道路も2005年の開通をめざしています。

このように、中部地区名古屋は少し遅いスタートとはなりましたが、魅力ある地域づくりを目指して大きなランドデザインを描き、着実な実施に入っています。これらが完成すれば日本の中心という立地を生かし、格段の発展が期待されます。

東京、大阪の皆様もぜひ名古屋にお立ち寄りください。今回仕事柄、内容が少し堅くなりましたが、また機会があれば、名古屋の文化、食、物、名古屋人、気質などやわらかいこともご紹介したいと思います。

名古屋市の施行、東海道線全線開通、市内に電灯点火と近代化が進んできました。また、名古屋の街づくりに大きく貢献したのが、展覧会だと言われている。明治43年、名古屋開府300年を記念し、関西府県連合共進会を鶴舞にて開催、昭和12年(1937年)、名古屋汎太平洋博覧会を同じくするまい公園で開催しています。この時期、名古屋駅の移転、桜通りの開通など大きな都市計画が実施に移されています。

最近、東京への一極集中化をなんとかしようとの事で遷都問題がマスコミをにぎわしている。遷都に対する首都圏各自治体ならびに、経済界の意見は総論賛成・各論慎重となるものもムベなるかなとの感もする。政治の集中化と経済の集中化が一体となっているところに難しい点があり、地方の時代がスローガンから一歩進んだ中身になかなか進まない事が証明していると言えよう。

情報の一極集中化もまたしかりである。情報社会のインフラ整備は、ハードが先行したため、結果的に東京への一極集中を促進させてしまった。首都圏(東京・神奈川・千葉・埼玉)の民力集中度合いは、法人数で全国の約三〇%・法人所得で全国の約三二%・大学生数で全国の約四二%といつた具合である。情報の流れも、東京から地方への集権型・官治型システムとなつて一方の流が多い。

情報の遷都

日本電信電話取締役 井関 雅夫 (東京)

情報化社会の到来は、地方に中央と同じレベルの情報量をもたらすこととなつたが、情報の発信源は中央に一極集中しており、その傾向はますます強くなっている。大きな要因は、企業・行政機能の一極集中、それと同時に通信網の発達とそれを使用するラジオ・テレビ等のマスメディアが東京中心に発展したためである。「情報が発達すればするほ

とされるものであろう。私は仕事柄「地域の情報化」には強い関心を持っている。発信源としての地域の情報化のためには、通信インフラの整備など、物的情報基盤の整備は当然必要となるが、それ以上に、人的情報基盤の整備こそが急務である。物的情報基盤は、通信事業者が料金の多様化も含め検討しているところであるが、人的情報基盤の整備については、ソフトの問題である。文化をいかに地方に根付かせるか、本物をいかに地方で育てるかにかかっている。情報の遷都とも言える情報発信の地方分散は、本物の人をいかに地方で育てるか、一流の文化をいかに地方で所有するかが決め手ともいえよう。

政治・経済の集中化と異なる側面で地方文化の発展に力を注いでいただくことが情報の遷都になる。今年、情報の発信源をいかにすべきか仕事とは別に考えてみたいと思う。

ど人はそれに触れなくなる。現象が東京への集中化を促進させているとも言える。このように、一方的な情報の流れが一極集中を促したとすれば、逆に地方対地方、地方対中央など双方の流、いわゆる多極分散型システムが必要となる。この考え方が「地域の情報化」



情報の一極集中化もまたしかりである。情報社会のインフラ整備は、ハードが先行したため、結果的に東京への一極集中を促進させてしまった。首都圏(東京・神奈川・千葉・埼玉)の民力集中度合いは、法人数で全国の約三〇%・法人所得で全国の約三二%・大学生数で全国の約四二%といつた具合である。情報の流れも、東京から地方への集権型・官治型システムとなつて一方の流が多い。

いま、そして未来へ……。

新聞革命 進行中……



世界の目、時代の目、毎日の目



毎日新聞大阪本社新社屋 (平成4年11月竣工)

私の生まれ故郷の伊予西条で誇れるものはいくらも、西日本で最も高い標高一九八二(約)の霊峰石鎚山とその連峰を水源として同市の中心を流れる加茂川と市内の至る所からコンコンとわき出る地下水でしょうか。そ

ところがいつの間にか巨人ファンとなり、それがエスカレートして、気づいた時にはアンチ阪神ともなっていた。

今年の阪神タイガースの戦いぶりは敵ながらアツパレで気持ちよかったです。トラキチのファイバーはうらや

トラキチの仲間に入れて下さいとか言っても相手にされないだろう。しかし、シラノ・ド・ベルジュラックのように、片思いならだれに迷惑をかける訳でもなく許されるかもしれない。

理由であるが、この度、名譽ある昭和十三年近畿寅年トーンが下がってきている。このような経済予測に対して、阪神タイガースの来年度のリーグ優勝はほぼ間違い

がないと言っているほど確率が高い。阪神タイガースが優勝すれば、近畿の経済



大阪高等検察庁 公安部長 検事 小浦 英俊 (愛媛)

トラキチの誕生か

れにあと一つ、松平家西条藩陣屋跡に私の母校西条高校があります。あの優勝請負人として有名過ぎる藤田元巨人軍監督も同校の出身であるという、ただそれだけの義理みたいな理由で、私は巨人を応援してきた。

迷ぶりとよく似ていて、ライラのしどおしであった。それに加えて、リーグ戦終了前から藤田監督が巨人軍を追われるうわさが立ち、終了後うわさ通り藤田監督が東京読売巨人軍を去った。百年の恋も一夜にして

ましかった。トラキチの集まりにたまたま入ったとき、私は旗幟(きしよく)鮮明にしないでただ相づちを打っていた。自分も阪神ファンですと、いつ切り出そうかと迷っていた。いまさら手のひらを返したように、

一スの虎に通じる寅年生まれであるだけでなく、私の家族は三代続けて寅年である。私は近畿を中心勤務し、そして現在の自分に育ててくれた。恩義は阪神を包括する近畿地方こそある。そして、これが最大の

ことに「今日から阪神ファンにして下さい」と言っているのだが。

も更に向上するであろう。来年こそは、阪神タイガースが優勝するように。ひいては近畿経済が好転しますようにと祈らずにはいられない。

景気の低迷の影響が多少出てきているとはいえず、海外旅行ブームは依然として活況を呈しており、成田空港等の混雑は相変わらずである。それ以外にも海外旅行をする度に彼我の差を痛感するのは、我が国の空港能力の貧弱さである。成田は昨年末にやっと第二ターミナルが完成したが、滑走路は一本のままであり、伊丹空港も発着の回数や時間が大きく制約されている。

このように成田や伊丹が片肺運用を余儀なくされている中で、関西新空港がよいよ明平成六年夏に開港する。大阪湾泉州沖五(約)の海上を埋め立て建設中の我が国初の本格的な二十四

時間運用の国際空港である。成田等の空港能力の制約によりこれまで増便や新規乗り入れを希望しながら

化するものと思われる。関西新空港は成田や伊丹と違い二十四時間運用の国際ハブ空港としての機能を

空輸送の果たす役割はますます大きくなっているが、その意味からも、国際ハブ空港はその国が国際的に優

入金に依存しているため、空港使用料が世界最高水準になるとみられ、これがス



全日本航空事業連合会理事長 近藤 憲輔 (愛知)

難題解けぬ関西新空港

景気の低迷の影響が多少出てきているとはいえず、海外旅行ブームは依然として活況を呈しており、成田空港等の混雑は相変わらずである。それ以外にも海外旅行をする度に彼我の差を痛感するのは、我が国の空港能力の貧弱さである。成田は昨年末にやっと第二ターミナルが完成したが、滑走路は一本のままであり、伊丹空港も発着の回数や時間が大きく制約されている。

このように成田や伊丹が片肺運用を余儀なくされている中で、関西新空港がよいよ明平成六年夏に開港する。大阪湾泉州沖五(約)の海上を埋め立て建設中の我が国初の本格的な二十四

時間運用の国際空港である。成田等の空港能力の制約によりこれまで増便や新規乗り入れを希望しながら

化するものと思われる。関西新空港は成田や伊丹と違い二十四時間運用の国際ハブ空港としての機能を

空輸送の果たす役割はますます大きくなっているが、その意味からも、国際ハブ空港はその国が国際的に優

入金に依存しているため、空港使用料が世界最高水準になるとみられ、これがス

寅年として 生きた日々

やや時季遅れとなりまして、昭和十三年寅年会」の設立に、心からお祝い申し上げます。また、あわせ

初めのアメリカ型の民主主義教育を受けた訳であり、我々の人格形成に多大の影響を与えたのではないかと

共に生きた我々寅年会のメンバーも既に五十歳の峠を越し、人生のかなり域に達し、共に学んだ同窓生の



蚕糸砂糖類価格安定事業団副理事長 武智 敏夫 (愛媛)

焼し、身寄りを頼って田舎に疎開した方々が多かったのではないかと。私も、夏目漱石の「坊ちゃん」の道後温泉で有名な四国の松山でB29の猛爆撃を受け、父を除く(兵隊)家族挙げて命からがら近郊の親戚(せき)に疎開したが、田舎に

子パレーのオリビック初優勝に、買ったばかりのテレビにしがみついた盛大な声援を送った日々を今でもよく覚えている。あの国民栄誉賞に輝いた今は亡き美空ひばりさんは、常に我々の一歳年上の女性でほぼ同

ざるを得ない状況となっているが、自分自身失ってならないことは、昔学んだ「額に汗して働くことの大切さ」や「どのような時代でも手を携えて強く生きる」という

近畿 幹事名

- 安部 栄治(兵庫・ひょうご科学技術創造協会専務理事)
- 小浦 英俊(愛媛・大阪高等検察庁公安部長検事)
- 谷口 文夫(三重・大阪府企画調整部部长)
- 土崎 敏夫(香川・大阪市長室理事)
- 中山 禎輝(大阪・京都府企業局局長)
- 藤浦 重美(広島・大阪府警察本部交通部参事官警視正)
- 若杉 長英(大阪・大阪大学医学部教授)
- 浅川 清(京都・タカラブネ副社長)
- 新井 昭二(埼玉・京都ホテル常務取締役)
- 井澤 勝(神奈川・西日本旅客鉄道常務取締役)
- 宇多小路勝(京都・住友金属工業取締役)
- 植月 正章(鳥取・アシックス取締役)
- 尾崎吉兵衛(大阪・トーマン常務取締役)
- 大林 孝三(兵庫・フットワークインターナショナル社長)
- 岡本 恭治(大阪・阪急電鉄取締役)
- 大嶋 進治(新潟・蝶理取締役)
- 金田 安義(大阪・サンスター副社長)
- 北島 真大(佐賀・シャープ取締役)
- 近藤 周平(大阪・阪神百貨店専務取締役)
- 佐藤 雅夫(大阪・東映取締役京都撮影所長)
- 浄弘美津子(和歌山・上新電機社長)
- 田崎征次郎(長崎・田崎真珠常務取締役)
- 東郷 武(兵庫・大和ハウス工業副社長)
- 長岡 壽男(大阪・大和銀行取締役)
- 花房正次郎(兵庫・新井組副社長)
- 廣瀬 吉彦(東京・アーバンライフ社長)
- 藤本 正和(東京・南海建設専務取締役)
- 本多 朗理(長崎・積水ハウス常務取締役)
- 前田 格義(神奈川・和光証券常務取締役)
- 三品 二郎(京都・野崎印刷紙業専務取締役)
- 水越 浩士(東京・神戸製鋼所常務取締役)
- 宮武健次郎(大阪・大日本製薬常務取締役)
- 光藤 文朗(東京・新日鐵化学取締役)
- 森本 元(大阪・日立造船取締役)
- 山脇 利捷(福井・松下電器産業取締役)
- 横島啓太郎(大阪・住友商事取締役)
- 横山 善太(神奈川・日本航空取締役)
- 綿石 正博(広島・南海電気鉄道取締役)
- 和田 卓也(愛知・味の素取締役)
- 濱田 守久(高知・大阪経済倶楽部会長)

東海 幹事名

- 坪井 敏之(愛知・愛知県総務部次長)
- 大谷 勲(石川・岐阜大学医学部教授)
- 植松 高豊(静岡・光洋精工専務取締役)
- 内川 晋(佐賀・トヨタ自動車取締役)
- 大野 博司(和歌山・国際証券専務取締役名古屋支店長)
- 加藤 千磨(愛知・名古屋銀行頭取)
- 金丸 隆充(大分・日新製鋼取締役名古屋支店長)
- 小島 映孝(三重・住友電装常務取締役)
- 長谷部清光(愛知・名鉄運輸常務取締役)
- 田口義嘉壽(岐阜・西濃運輸社長)
- 田中 久勝(東京・コスモ石油取締役名古屋支店長)
- 竹内 良介(愛知・INAX常務取締役)
- 永島健次郎(東京・三菱油化取締役四日市総合研究所長)
- 西垣 博之(岐阜・大垣共立銀行取締役)
- 三井 隆(愛知・アイカ工業常務取締役)
- 村上謙一郎(岡山・清水建設取締役名古屋支店長)
- 矢野 武(愛知・新東工業常務取締役)
- 山口 寛之(愛知・日本電装取締役)
- 若林 忠(長野・豊田通商取締役)
- 濱田 守久(高知・大阪経済倶楽部会長)

関東 幹事名

- 荒瀬 真幸(山口・日本放送協会放送総局特別主幹)
- 伊藤 博行(愛知・内閣内政審議室室長)
- 博史(鹿児島・農林水産省大臣官房官房長)
- 河野 久(香川・参議院法制局部長)
- 上野 尚武(東京・建設省都市局長)
- 鹿島 吉弘(東京・通商産業省機械情報産業局長)
- 坂本 公和(山梨・厚生省大臣官房総務審議官)
- 瀨田 實(北海道・外務省条約局長)
- 丹波 実(東京・自治省大臣官房総務審議官)
- 滝智 敏夫(愛媛・蚕糸砂糖類価格安定事業団副理事長)
- 中島 孝夫(東京・会計検査院事務総局第五局長)
- 長瀬 要石(長野・経済企画庁総合計画局長)
- 南学 政明(栃木・日本輸出入銀行理事)
- 藤井 一夫(東京・防衛施設庁長官)
- 山本 貞一(石川・日本開発銀行理事)
- 高秀(大阪・東京大学医学部附属病院病院長)
- 近藤 憲輔(愛知・全日本航空事業連合会理事長)
- 青木 繁(東京・三菱地所取締役)
- 東 武(奈良・三和シャッター工業常務取締役)
- 陳由(福岡・古河電気工業取締役)
- 大塚 恵一(長崎・協和醸造工業取締役)
- 猪熊 研二(兵庫・新日本製鐵取締役)
- 石村 和清(東京・ヤマハ常務取締役)
- 石川 俊満(福岡・帝人取締役)
- 井関 雅夫(東京・日本電信電話取締役)
- 遠藤 英則(山形・ニチレイ取締役)
- 榎本 恵一(香川・ジャスコ専務取締役)
- 大高 裕(東京・昭和シェル石油常務取締役)
- 押尾 公人(千葉・千葉銀行常務取締役)
- 加藤 丈夫(東京・富士電機常務取締役)
- 兼子 勲(東京・日本航空取締役)
- 渡江 克彦(石川・東京海上火災保険常務取締役)
- 小林 靖弘(東京・日本長期信用銀行常務取締役)
- 佐久間 彰三(福島・日本国土開発常務取締役)
- 佐藤 信武(新潟・イトーヨーカ堂専務取締役)
- 清水 明(東京・カシオ計算機常務取締役)
- 竹下 吉弘(富山・東洋信託銀行常務取締役)
- 谷口 孝(栃木・ナショナル証券専務取締役)
- 田中 英夫(静岡・静岡銀行常務取締役)
- 利光 國夫(東京・小田急電鉄取締役)
- 友森 宏(東京・日商岩井常務取締役)
- 土手 重治(高知・NKKK取締役)
- 中村 宏(富山・日本興業銀行常務取締役)
- 野口 正吉(東京・合同酒精専務取締役)
- 服部 辰雄(東京・三井海上火災保険常務取締役)
- 平林 浩介(東京・大日本印刷取締役)
- 日向 正巳(神奈川・三菱信託銀行常務取締役)
- 福田 徳之(徳島・住友信託銀行常務取締役)
- 古館 昭(佐賀・さくら銀行常務取締役)
- 細谷 幸生(東京・日清紡取締役)
- 真鍋 勉(神奈川・三井不動産取締役)
- 益本 巽(広島・全日本空輸取締役)
- 松井 惇夫(東京・秩父セメント常務取締役)
- 三輪 俱備(神奈川・富士銀行常務取締役)
- 南 俊輔(神奈川・三菱レイヨン取締役)
- 茂木賢三郎(千葉・キッコーマン常務取締役)
- 吉崎 蓮一(神奈川・熊谷組常務取締役)
- 吉田 彪(福岡・中外製薬取締役)
- 渡邊 元昭(東京・KOMATSU取締役)
- 濱田 守久(高知・大阪経済倶楽部会長)

新年例会ご案内

1月13日	東海寅年会
18:30	名古屋観光ホテル
講師	国際証券株式会社 専務取締役 大野博司
1月14日	近畿寅年会
18:30	ホテル阪神
講師	日本銀行大阪支店 理事支店長 田村達也
2月10日	関東寅年会
18:30	パレスホテル
講師	オリックス株式会社 取締役 佐々木俊二

この会の構成

国会議員、省庁課長以上、都、道、府、県、市(市は衛星都市含まず)次長以上、上場企業役員、団体役員、大学は医学部教授。

※この会は一度例会に出席されますと、永久に資格を得ることになります。
入会金は頂いておりません。
この会を運営維持していくため、維持費として年間¥10,000を頂いております。ぜひご協力の程、よろしく願いいたします。

振込先

- ◎関東寅年会
三菱銀行大阪支店(店No.520)
普通預金口座No.0597003
名義 関東昭和13年寅年会
幹事 濱田守久
- ◎東海寅年会
三菱銀行大阪支店(店No.520)
普通預金口座No.0785345
名義 東海昭和13年寅年会
幹事 濱田守久
- ◎近畿寅年会
三菱銀行大阪支店(店No.520)
普通預金口座No.0401951
名義 近畿昭和13年寅年会
幹事 濱田守久

◎編集後記
◆会報第3号をお届けいたします。新聞社でいえば、世界的なスクープといえども、締め切り時間に間に合わなければ、ただの紙くずと同じ運命をたどるだけに、原稿の締め切りが守られたのがうれしい。

◆白筆の原稿を、カット代わりに使って頂きました。「味三代」というタイトルもそっくりだったという証拠品です。顔写真よりも、散歩や食事、読書、デスクの前でなど生活感のしむスナップを添えてください。

◆会報の紙面編集作業と毎日新聞大阪本社引越越し作業がぶつかった。全員が捨てることに全力を挙げたが、残ったガラクタの中に、貴重な資料や写真もあった。土蔵の中も、見よう調べようで値打ちが違うというもの。(毎日新聞大阪本社制作局長・菊本康久)

平成4年度 収支明細

収入の部		
維持会費	関東 98名	980,000
	東海 29名	290,000
	近畿 57名	570,000
	計	¥1,840,000
支出の部		
印刷費(封筒、はがき他)		598,400
(例案内コピー・ワープロ他)		82,000
通信費(例案内送・返信費用他)		1,179,336
事務用品費(領収書・綴・セロテープ他)		18,580
	計	¥1,878,316
差引		△¥38,316



大阪経済倶楽部の理事会

滋大阪自治調査会

- 会長 濱田 守久 (大阪経済倶楽部会長)
- 理事長 森 實 (社団法人 日本ワールドワイドコン会理事兼専任)
- 理事 橋本 嘉夫 (社団法人 日本地方新聞協会会長)
- 理事 中山 愛英 (明治天皇外戚 貴顕会会長)
- 理事 御門 正明 (社団法人 奈良県不動産鑑定研究会会長)
- 理事 紀井 浩 (元自治労近畿地連議長)
- 理事 中江 康人 (前事務局長)
- 理事 立中 善巳 (公認会計士)
- 理事 中村 善胤 (士)
- 監事 大山 満根 (大阪経済倶楽部常務理事)

大阪経済倶楽部

- 会長 濱田 守久
- 副会長 芝原 茂信
- 常務理事 達本 政文
- 常務理事 黒澤 日出雄
- 常務理事 大 山 満根
- 理事 瀬川 喜代治
- 理事 切原 毅
- 理事 嶋津 島 利
- 理事 藤田 繁夫
- 理事 辛島 武男
- 理事 安井 善一
- 理事 清水 哲夫
- 理事 深見 昭
- 理事 大本 清